

友好団体活動状況

今年度上半期の緑地保全活動報告

国分寺姿見の池緑の会 代表 高橋 邦宏

新コロナ感染禍のもとでしたが、毎月第一日曜日の午前の定例作業、臨時作業の中で、豊かな緑地保全活動が市民の憩いの場、自然学習のフィールドとして定着してきたと実感します。

第1に、遊歩道の整備、下草刈り・枯損木や枯葉の除去などで樹木や草花の発芽・成長を促す作業、ゾーニングなどの貴重種保護活動を実施してきました。

第2に、全国的に発生している、「カシノナガキクイムシ」によるコナラ、クヌギなどを枯らしてしまう被害の防止対策です。当緑地保全区域では、昨年からの樹木への薬剤の塗布、進入阻止ガード措置、捕獲器の設置などをすべての樹木に施してきました。

新たに伐採が必要な被害木は数本発生していますが、拡大傾向は減少し、対策の効果が確認されています。

第3に植物相調査です。231種の草花、樹木が既存種として残されていることが確認され、年々確認数が増え調査の精度が増し、貴重な植物は34種も確認され武蔵野の自然の保全と復活が窺えます。

第4にイベント保全活動体験活動「里山へGO」は9月25日(日)、25名の参加で実施。下草刈り、樹木伐採等の保全活動体験、クラフトでは、ドングリ駒を作って駒回し競争。竹水鉄砲を作り、放水。子ども、大人も一緒に楽しい経験となり、「安心して参加できた」「大人も子供も楽しめた。また、参加したい」と大変好評でした。「国分寺市にふるさとをつくる会」の皆さんの行き届いた準備と指導に紙面をお借りして感謝申し上げます。



ナラ枯れ対策作業



保育園児の散策

「11月の自然塾」

NEAL 自然体験指導者 長谷慎太郎 田中由美子

当日は12月並みに寒い日でしたが、九小の理科室をお借りして、自然物を使った2つの制作プログラムを行いました。「森のドリームキャッチャー」は、ネイティブアメリカンに伝わる子供の安眠のお守りです。ネイティブアメリカンの自然を大切にする生き方とお守りに込めた親の願いを紹介して、制作に移行しました。蔓で作ったリースに毛糸を張り巡らし、各自が工夫をしてドングリ、ウッドビーズ、鳥の羽で飾りつけ、個性的な作品が出来上がりました。「ひつつきむしで大漁だ！魚釣り！」では、「ひつつきむし」（動物の体やヒトの衣類に張り付いて分布域を広める植物の種子の俗称）の学習をして、ルーペでひつつく仕組みを観察しました。その後葉っぱに魚の絵を描き、口にスポンジを付けて魚を完成。ひつつきむしを釣り針にした釣竿で釣り大会を行い、川に見立てた九小の廊下は、大いに盛り上がりしました。

(右写真は、上:ドリームキャッチャー 下:ひつつきむしで魚釣り！)



自然塾のお知らせ

12月18日(日) 場所: 第9小学校 理科室
(上履きを持ってきて下さい)

集合: X山 『プログラム』

☆ 「松ぼっくり」ってなに？

調べてみましょう。

☆ クリスマスリースを作きましょう！

まつぼっくり・どんぐり・ヒマラヤスギなどの木の実や、緑の小枝などを使えば、楽しいクリスマスの準備をしましょう。

12月行事予定

1日(木) 多摩に歩く会

9:00 西国分寺駅南口噴水前集合

5日(月) 防災推進の街づくり仲間の会

井戸端会議

9:30 室内プール前井戸

10日(土) ふるさとの会合同幹部会議

14:00 恋ヶ窪公民館

14日(水) 森の自然塾運営会議

9:30 恋ヶ窪公民館

18日(日) 日吉町内会定例会

13:30 日吉フードセンター

18日(日) 森の自然塾

9:30 エックス山中央

18日(日) 防災推進の街づくり仲間の会

14:00 恋ヶ窪公民館

25日(日) 姿見の池ホテルの会

作業: 9:30 姿見の池

会議: 14:00 恋ヶ窪公民館

26日(月) 会報配布準備

14:00 恋ヶ窪公民館

26日(月) 多摩に歩く会会議

15:00 恋ヶ窪公民館

東京都公文書館企画展

「東京の鉄道と地域（鉄道開業 150 年記念）」を観て

日吉町町内会 笠井健次郎

この企画展については前理事長白木さんがパンフを添え教えてくださった。因みに私は電機メーカの鉄道車両製造工場で永年勤務しており、関心があるはずと推測されたものである。これは図星であり喜んで出かけた。

都立図書館の隣に都の公文書館が出来ることは知っていたが、初めての訪問である。展示は2室を使って次のような構成であった。① 鉄道開業～新橋・横浜間鉄道 ② 馬車鉄道から市街鉄道へ ③ 多摩地域の鉄道 ④ 都市の発展と鉄道 ⑤ 市電から都電へ～さくらトラムの原流を探って、これらは保存されている各種資料等とともに解説されており、分かりやすく先人の英知と労苦を知ることができる。幻に終わった東京山手急行電鉄など初めて知った。展示内容は1960（昭和35）年ころまでのことで、近年には触れられていない。これは各自考えよということか。巨大な赤字の日本国有鉄道の分割民営化や新幹線開業、地下鉄の拡充等歴史的イベントも多い。東京都内での画期的なことの一つは、地下鉄を通じた私鉄電車の相互乗り入れである。例えば埼玉県飯能から横浜中華街まで3つの私鉄と地下鉄の連携で直通電車が普通に運転されている。ソフトの面ではスイカ等IC乗車券でJRや私鉄に自由に乗降できるシステムも素晴らしく特筆に値する。

ところで国分寺はその筋の人にとってはメッカともいえる土地である。その地にてこの展示が行われたことは意義深いものがあり、もっと、PRされるとよかった。公文書館のある場所には、武蔵国分寺公園に記念碑があるように嘗て国鉄の中央鉄道学園があり広い敷地には蒸気機関車の汽笛が響き、多くの中堅幹部が巣立っていった。また光町には平兵衛祭りでお馴染みの鉄道総合技術研究所があることはご承知の通りである。



<明治5年>
新橋～横浜間に開通
した“蒸気機関車”と客車

『国分寺、小金井の3年間』の思い出

国分寺市にふるさとをつくる会 嶋崎 猛

昭和20年4月、青梅の小学校（当時は青梅国民学校）に入学しました。8月15日終戦となり平和な暮らしが訪れました。しかし食糧難で毎日の空腹を満たすことはありませんでした。私は父親の畑仕事を手伝いながら毎日を過ごしていました。昭和29年3月中学校を卒業しましたが、私は進学先は地元の青梅農林高校を受験するつもりでしたが、担任から「これからは農業より工業の時代だ」と、諭されて都立小金井高校電気通信課へ進学しました。私は山が大好きでしたので、躊躇なく山岳部に入部し週末には本格的な山登りが始まりました。大のキスリングに20kg、30kgの荷物を詰め込んで、姿見の池や野川源流の細い道や現在のエックス山付近の窪地など絶好の訓練の場でした、当時はまだ日本の原風景が国分寺のそこここに見受けられました。また夏になると貫井のプールで日が暮れるまで泳ぎました。実際の山行は南アルプス、北アルプス、八ヶ岳等々で週末はいつも終電の信濃四谷行に乗るためにいつも新宿駅でした。学校の行事では冬のマラソン大会が思い出されます。学校から国分寺の街中を走り玉川上水の桜並木を通過して折り返して学校までの約5キロのコースを3年間走りました。小金井、国分寺の3年間はその後の私の人生にとって最も充実した日々だったと思っています。小金井、国分寺の地に感謝しています。



府中市



国分寺市

筆者が親しんだ馬場大門橋と姿見の池

「ふるさとの自然と歴史を訪ねる会」を実施して

実施担当 二瓶文博

晴天の青空のもと、11月16日に、JR高尾駅から黄金色に輝く甲州街道のいちよう並木を歩きました。大正天皇陵が作られた昭和4年（1929年）に、宮内庁が約4kmの区間にいちよう770本を植えたもので、約100年経って見事な並木になっています。青と黄色の構図は、ウクライナの国旗とそっくりで、感じるものがありました。

イチヨウ並木の区間は、江戸幕府の家臣団である八王子千人同心が住んでいたところです。建物は現代のものに変わっていますが、黒い板塀と道に沿った用水が、昔の雰囲気を残していました。

コロナ対策との関係で、なかなか開催できなかった「訪ねる会」でしたが、晩秋の彩影の中を歩いて、快い疲れを感じながら、久しぶりのウォークを終えることができました。

環境保全に配慮し、
人に、社会に、地球に
優しい製品及び
サービスを提供します

 **リオン株式会社**
<https://www.rion.co.jp/>

エックスやま
本社はX山に位置します

自然環境保護に賛同

賛助会員 TEL 042-321-5441

国分寺市日吉町4丁目13番2

中央システム技研(株)

代表取締役 川野 誠
(長野県下伊那郡出身)

私たちは木を森を自然を
大切にしています。

Environment Conscious
R&D for the Future

企業紹介はこちら
(株)日立製作所
中央研究所 →



HITACHI
Inspire the Next

ホームページ

NPO法人
国分寺市に
ふるさとをつくる会

QRコード

